

乾燥地の植物とその利用（２）

創刊号で Al Ain 周辺の代表的な地形と自然植生の分布について、大まかな規則性がみられる、ということを書きました。今回はそのうちの山地部とその周辺の主な植生に注目してみます。山地部の多くは岩が露出した急峻な地形で、土壌はほとんど発達していない。山地部及びその周辺の礫原に *Acacia tortilis* 等のまばらな植生が見られる。また、山地部の山麓には比較的長いワジや、浅いガリーが走っている。冬季には表流水が見られる場合があるが、常時流水のある川はない。山地部のワジ周辺には *A.tortilis*, *Zizyphus spina-christi*, *Prosopis cineraria* 等が生育している。



1) *Acacia tortilis* (*Acacia raddiana*)



特徴：アフリカ～中東、インドの乾燥地・半乾燥地に広く分布する。葉は複葉。長く、強い刺がある。生育条件：耐乾性が強く、年降雨量 100mm 以下でも生育する。長期の乾燥や、50℃程度の高温にも耐える。



用途：熱量の高い良質の薪炭材。葉や莢は飼料にされる。フェンスや砂防植林等にも用いられる。

その他：傘のような形をしているので、"umbrella tree" と呼ばれる。

2) *Zizyphus spina-christi*



特徴：サヘル地域～中東、地中海周辺、南西アジアに広く分布する。楕円形の葉、短い刺を持つ。2cm 程度の実をつける。

生育条件：耐乾性があり、年降雨量 100mm 程度の砂漠地域でも生育するが、ワジのように地下水がある所や、沖積土壌を好む。気温 50℃程度まで耐える。



用途：葉は良質の飼料。果実は食用、飼料用。木材としての品質がよい。また、根系が深く発達するので侵食防止にも向いている。

その他：キリストの刺の冠。日本のナツメの仲間。